

Q 街路灯料金の調整は
A 住民理解を深めて進める
野田省一 町長の執行方針
で述べられた合併時未調整
項目を、本年度に調整を
図るとありますが、ことで、
町民の皆さんへの負担が増
えると考えられますが、物
価の高騰、高齢者の医療や
福祉の負担増が続く中、調
整時期を慎重に検討すべき
だと思われしますが、見解が
あればお伺いいたします。
山口憲造町長 未調整は1
3項目あり、諸事情を考慮
し、できるだけ理解を深め
ていただけるよう、差異の
調整を図っていきたくと考
えています。

集落間距離など環境の差異
があつて、画一的な料金体
系では納得できませんが、
その他の調整方法の考えは
ありますか。
山口町長 今、素案をつく
っている段階で、速やかに
移行したいと思つていま
すが、防犯灯、街路灯につ
いては、いろいろと意見のあ
るといふことも、承知をし
ますので、今後1年、半年
間の中で、しっかりと住民
への理解を図りながら進め
ていこうと思つています。
野田 調整時期も段階的調
整を図る考えはありますか。
山口町長 単年度で統一を
するもの、段階を踏んで統
一するものと、諸事情の中
で出てくると思つていま
し、調整項目の内容によつ
ては、緩和策など、段階的
な統一の仕方も判断してい
きます。

山口町長 一つの町民にな
ったからには、一つの統一
した考え方で、望むという
ことで、住民への理解を進
めていきたいと思つており
ます。
Q 両地区の交流事業は
A 団体レベルから共有促進
野田 両地区の町民の人的
交流事業について各種団体
の交流が図られつつありま
すが、一般の町民の皆さん
の交流を図る事業の必要性
が求められています。考
えを伺います。
山口町長 これまで両地区
がそれぞれ展開をしてきた
各種事業、イベントに積極
的に参加を呼びかけ交通手
段等も考慮しながら、交流
を深めてきました。
今後は、各種事業によつて
一体感へのきっかけにつな
がっていくことを期待し、
これらの交流を継続し、さ
らに、一体感を共有できる
ものも、今後模索をしてい
くことも必要と認識をし
ます。

と人々の交流の重要性を感
じたという「ご意見もあり、
住民レベルでの親睦を深め
る事業が必要と思ひますが
具体的にはありますか。
山口町長 団体の皆様方も
個人の集まりで、初対面よ
りも、団体というかわり
の中、のほろが、スムーズに
溶け込むこともできると思
えますし、これらを継続し
個人へのつながりに結びつ
いていけばと考えています。
今後、一つの町として共有
できるものを、検討してい
ますが実現には、もう少し
時間がかかることも、考
えています。
野田 小学校のレベルから、
一つの町になった事を実感
できるお互いの地域の交流
というものも、ぜひ今後の
課題の中に検討していって
いただきたいと思います。
■その他に「木質ペレット
導入促進について」「町の
発注する維持管理業務、保
守点検整備について」の質
問がありました。紙面の都
合で省略いたしました。

山口町長 防犯灯の電気料
などは、統一した調整を図
ることが基本で、両地区で
その差異がある調整は、考
えていません。
野田 生活環境の差異が地
区毎にあり、防犯灯などは

野田 料金が高いほうに合
わせることも、とられがちな
根拠ではなく調整の根拠を
明確にし、住民の皆さんへ
丁寧に説明をし段階的に調
整すべきとおもうが考えを
伺います。

野田 先の地域協議会で、
合同会議を終えて、委員の
中からも意見として、親睦